

南信州広域連合第5回広域連合会議 結果報告

日時：令和3年8月12日(木) 16:15~17:00

場所：県飯田合同庁舎301号会議室(講堂)

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕細川所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔町村会〕岡庭事務局長

〔飯田広域消防〕有賀消防長・下平次長兼警防課長・松下総務課長

〔環境センター〕飯田事務長

〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

伊藤庶務係長・野牧広域振興係長・松澤庶務係主事

1 開会…16:15

2 広域連合長あいさつ

デルタ株(変異株)は非常に感染力が強い上に重症化しやすい。ワクチン接種の裏腹ということもあるが、若年層の感染者数も多い。圏域全体として、デルタ株への対策を講じ、乗り越える必要がある。本日の広域連合会議を通じて、デルタ株の情報・対策について、まずは我々が情報共有を図り、住民の皆さまへもしっかり広報していきたいと思う。

3 協議・報告事項

(1) 新型コロナ感染症対策について 【連合長】 ~資料No.1~

*飯田市が実施した抗原定性検査(簡易キット)を活用した水際対策事業について報告

ア 背景

- ・欧米の一部の地域では、住民に対し抗原定性検査キットを無償で配布し、週2回の頻回な検査を実施することで、感染拡大抑制や経済再開を目指している。
- ・新型コロナウイルス感染症は、無症状感染者が感染を拡げている可能性が指摘されており、感染者の3~5割程度ではないかといわれている。
- ・有症状者も発症日までに他者へうつしてしまうことが多い。

イ 当地域の水際対策強化

- ・過去のいずれの感染例も、地域外からのウイルスの持込により拡がった。
- ・感染力の強い変異株に対して、飯田市の専門家会議から、地域外との往来に対する水際対策の強化が求められた。
- ・PCR検査を頻回に実施することは困難のため、簡易検査キットを使って臨床研究することとした。

ウ 課題

- ・日本では、無症状者への検査や個人が検査を行うことを推奨してこなかったため、以下のような点が不明であった。

- ①個人が検査を正しく行えるか
- ②偽陽性の発生頻度とその課題
- ③検査のタイミングと検査対象者

④簡易検査に対するニーズや効果

エ 方法

- ・ 6月21日以降、5,000セットを申込制で無料配布。
- ・ 個人が検査を行うための説明書の作成（動画も作成し見て頂いた）。
- ・ 地域外の往来直後と3日目に検査を行ってもらう。
- ・ 検査実施後のアンケートにより、感染拡大抑制の可能性と課題を整理した。

オ 結果

- ①個人が検査を正しく行えるか
→ 十分行えた（判定不能は、0.3%）
- ②偽陽性の発生頻度とその課題
→ 陽性0件（偽陽性0件推定）
- ③検査のタイミングと検査対象者
→ 往来した後に検査して安心したとの声が多かった
- ④簡易検査に対するニーズや効果
→ 今後も是非やりたいとの声が95.2%

カ その他

- ・ 当地域は、当日検査を行う医療機関もあるし、飯田保健所に相談すれば地域外来・検査センターで午後1時から検体採取し、当日夕方には結果が判明する優れた検査体制がある（全国平均は2日）。
- ・ ただし、感染者が他者に感染させたと思われるタイミングは発症の1日前、2日前が多く、また、陽性者のうちの約3割程度は、無症状だといわれている。
- ・ 有症状者が発症する前に、あるいは、無症状者が疫学調査を実施する前に探知、隔離することが重要であり、今回の飯田市の結果を受けて、是非、広域連合として水際対策を行っていかねばと考える。
- ・ 検査を希望する方への検査機会を提供し、社会的不安を緩和する効果が期待できるが、デルタ株等の出現で数日経過してからの感染もあり得る。陰性だからといって安心しすぎない行動への注意喚起を併せて行うことが大事である。

（主な意見等）

副連合長：飯田下伊那は幸いなことに変異株の感染者が他地域に比較すると少ない。感染してしまうと、罹った人のメンタル面や周りの社会的な影響が大きいことから、ワクチン接種と並行して、こうした水際対策を実施していくことは有効だと考える。

また、変異株が猛威を奮う中、今後新たなワクチンの開発や薬もできていくであろう。そう遠くないうちに、新型コロナが第2類から外れてくると予測する。でなければ第2類の感染症として、全て保健所を通さなければならない。いわゆる第5類の季節性のインフルエンザのような扱いになれば、どこの病院でも受診ができ、感染症病棟でなくても診てもらえるようになるため、発症から治療までのタイムラグが短くなる。その時にこのような簡易検査キットで個人検査をすることができれば、よりスムーズに自分の病気を見つけて町医者等に掛かることができると思うし、前向きな動きがとれる手助けになると思う。是非、賛同したい。

阿智村：飯田市が率先して行ってきており、非常にありがたい。質問になるが、薬局等の市販で売っているものは信憑性があるのか。もしあるのであれば、行政でも予算に限りがあるので、安価なようなら住民の方々に広報してくような形も良いと思う。

保健福祉事務所長：薬局では、数千円するのが通常だと思う。今回飯田市が購入する検査キットは行政としてまとめて購入することで、安価となっている。検査キットの正確性については、私自身全てを調べたわけではないが、ある程度の正確性はあると思う。ただし、今後、粗悪品等も出回る可能性もあるので注意が必要。

また、今回購入する検査キットは、医薬品ではないが非常に感度が高い。例えばだが、住民の方への配布以外にも、救急隊にキットを渡しておくのも良いかもしれない。現場で検査をすることができれば、活動にも安心感がもてるし、病院等の受入れもスムーズになると思う。

大鹿村：暴露してからどのくらいの期間で陽性反応が出るか。

保健福祉事務所長：非常に難しい。なぜなら全てが同じように増えていくわけではないから。共通して言えるのは、暴露したと思われてからすぐに検査してもほぼ出ない。少なくとも48時間おいてから検査するのが一般的。ただし、48時間後に検査し陰性なら大丈夫というわけでもない。長いものでは96時間経過してから陽性を示すことがある。特に、デルタ株では、全体の1割程度は96時間以降に陽性反応が出ることもあるため要注意。

大鹿村：無症状の状態で隔離できるかというのが重要であると思う。当然、症状が出ていれば、医療機関での検査となるが、キットを使用し陰性だったから大丈夫というわけでもない。そのあたりの住民の方々への正しい理解や、行政としての責任を考えると大鹿村としては慎重に検討していく必要がある。とりあえずは村民への提供はせずに、教育委員会への配布と避難所等で万が一の際に使用できるような形で購入を考えているが、有効性が確認できれば、今後村民の方々への配布も検討していきたい。

(2) 令和3年度南信州広域連合議会第2回臨時会について 【事務局次長】 ～資料No.2～

ア 開催日

令和3年8月27日（金） 付議事件2件（報告1件、人事案件1件）

イ 議会日程

（日程1）会議成立宣言

（日程2）議席の変更

（日程3）議席の指定

（日程4）会期の決定 8月27日（金）1日（議会運営委員長報告）

（日程5）議会運営委員の選任

（日程6）議案説明者出席要請報告

（日程7）会議録署名議員指名

（日程8）広域連合長あいさつ

（日程9）報告

報告第2号 令和2年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計繰越明許費繰越予算書の報告について

（日程10）議案審議

議案第13号 監査委員の選任について

ウ 付議する案件について

・令和2年度南信州広域連合飯田広域消防特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について
伊賀良消防署雨漏り修繕事業

・監査委員の選任について

令和3年6月25日から不在となっている監査委員（議員選出）の後任を選任するもの

→ 質疑等なし

(3) 飯田広域消防本部から 【消防次長兼警防課長】

・熱中症疑いによる救急搬送の状況（令和3年4月26日から8月12日8時30分現在）

→ 56人（昨年同日比 +10人）

・今年の4月から熱中症警戒アラートを使用し、発令時には市町村の担当部局に防災行政無線を活用しての熱中症予防広報をお願いしている。

- ・火災発生件数について（8月5日現在）
→ 55件（昨年同日比 +4件）
- ・8月については、火災が6件発生し、うち4件がたき火火災。引き続き、たき火火災の抑止に努めるとともに、効果的な広報等、啓発活動に取り組んでいく。

(4) 後援依頼について 【事務局庶務係長】

*第33回島岡吉郎旗野球大会

主催：高森町

共催：高森町教育委員会、高森中学校、高森町野球連盟、高森町公民館

期日：中学生の部 8月21日（8月22日予備日）

学童の部 8月28日、29日

会場：高森町民グラウンド、高森中学校グラウンド、乾光精機グラウンド他

→ 質疑等なし

5 当面の日程について

令和3年8月27日（金） 広域連合議会第2回臨時会

6 その他

特になし

7 閉会…17:00